

Research Papers : Muslims in Japan No.31

日本のムスリム人口 2026 年

Estimate of Muslim Population in Japan, 2026

店田 廣文

Tanada Hirofumi

早稲田大学名誉教授

Institute for Multi-ethnic and Multi-generational Societies

Tokyo, Japan

September 2026

多民族多世代社会研究所

〒202-0001 西東京市ひばりが丘 1-16

Abstract

Estimate of Muslim Population in Japan, 2025/2026

TANADA Hirofumi

(Professor Emeritus, Waseda University)

(Institute of Multi-ethnic and Multi-generational Societies)

In this paper, I will show the past and present status of Muslim population in Japan at the year of 2025/2026. Last year, the author published the estimated Muslim population in Japan for the year 2024/2025. Regarding the Muslim population in Japan at the end of 2024/the beginning of 2025, the estimated population was about 420 thousands. In this report, the latest estimate will be conducted making use of “Statistics on the Foreigners Registered in Japan” at the end of the year 2025 and other materials. In this paper, I describe the status of Muslim population at the end of 2025 in Japan and present the number of mosques in Japan at June 2026 in details. The estimated Muslim population in Japan at the end of the year 2025 is about 510 thousands.

Keywords: Muslim, Population, Estimate, World, Japan

序

日本社会とイスラーム社会との本格的な交流は、幕末から明治初期の頃にはじまった。それから 150 年以上が経過し、2020 年末には日本に居住しているムスリム人口は 20 万、そして 2024 年末には 42 万を数える規模にまで増加した。一方、国内に開設されたイスラーム礼拝所（モスク）は、戦前には 3 箇所、戦後の 1980 年代初めに至るも 4 箇所に過ぎなかったが、2025 年には、モスクの数は 160 を超えた。¹

本稿では、最新の在留外国人統計のデータを利用して、2025 年末時点の日本のムスリム人口推計について提示する。² 1990 年以降のムスリム人口増加の要因として考えられるのは、仕事や留学・研究などによる外国人ムスリムの来日と、中長期の滞在が可能となる永住者や定住者、日本人の配偶者等の在留資格を取得した外国人ムスリムの増加である。近年は、とりわけインドネシア国籍のムスリムについては、技能実習や特定技能の資格等での来日が急激に増加してきている。以上のような多様な要因が重なり合って、外国人ムスリムの人口が増加し、またそれに随伴して日本人ムスリムも増加してきたのである。

人口推計の主たる資料となる在留外国人統計によれば、2020 年からのコロナ禍によって在留外国人数も影響を受け一時的に減少することとなったが、近年では再び在留外国人数が増加している。因みに、2020 年 12 月末の在留外国人統計を参照すると、在留外国人数は約 289 万であり、前年の 2019 年末現在には約 293 万であったから、約 4 万の減少となった。さらに、2021 年末には約 276 万へと減少した。しかし、その後の変化を見ると、2022 年末には 308 万、2023 年末には 341 万、2024 年末には 377 万、2025 年末には 413 万と、2020 年末からの 5 年間で約 120 万の増加が見られたのである。このような増加が、日本のムスリム人口の増加にも反映していることは間違いないが、これまでのムスリム人口の推移を振り返ると、在留外国人全体の増加率を超える勢いで、日本のムスリム人口は増加していることが明らかである。具体的にみると、2024 年末には日本のムスリム人口は 42 万に達しており、2020 年末当時にくらべ、およそ 2 倍もの規模に達していたのである。このレポートでは、その後の 1 年間の変化を確認しているが、日本のムスリム人口は依然として顕著に増加していると言って良いだろう。以下の推計結果で 2025 年末の日本のムスリム人口の規模とその詳細を、確認していただきたい。

なお、日本のムスリムの推計された人口規模については、日本社会におけるムスリムの存在感や実態として目にするムスリムの姿から感じ取られるムスリム人口の規模との違和感、とりわけ「見えない存在」としての日本人ムスリムの有り様などが議論されることがある。ここに提示する推計されたムスリム人口は、国籍のデータを主に参照しながら推計されたものであり、宗教に関する統計を利用した推計人口ではないことを強調しておきたい。本稿で示されるムスリム人口は、個々人の信仰の申告や信仰の実践などによって「ムスリム」として把握された人口ではない。したがって推計されるムスリム人口の規模をどのように評価するかについては、読者それぞれの判断に委ねたい。³

この報告書では、これまでと同様の方法で推計をおこなう。主たる資料は、法務省・出入国在留管理庁のウェブページにある「在留外国人統計」である。推計の詳細については、既存の拙稿やこの報告書の本文を参照されたい。⁴また本稿の文末には、モスク（マスジド）の設立状況に関するリストを掲載した（2026 年 6 月現在）。初めに都道府県別にモスク所在の自治体名を明記したリストを掲載し、一覧のリストでは、モスク名、所在地（都道府県と市区町村）、開設・確認年次の順に掲載した。

1. 日本のムスリム人口 これまでの推計値概観

日本人として最初にムスリムになったのは野田正太郎といわれ、1891 年のことである。19 世紀末には神戸や横浜にインド系ムスリム商人が居住するようになり、その後、日本人ムスリムとして聖地マッカ（メッカ）を訪問した山岡光太郎の他、田中逸平、有賀文八郎などの改宗者が 20 世紀前半には知られている。⁵ 戦前期日本のムスリム人口は、1920 年代にロシアから難民となって流入したタタール人ムスリムが次第に増加して、1930 年代頃には、外国人、日本人を合わせて、千人前後であったと考えられる。因みに日本人ムスリムの中には国策としての「回教政策」に関わって、入信した者もいた。戦後になると、タタール人ムスリムの多くがトルコ国籍を得て出国したため、1950 年代前半頃には、日本人、外国人合わせて、数百人程度のムスリムが日本に居住していたと思われる。その後の 2010 年までの人口推移を示したものが、表 1 である。このように、日本のムスリム人口は、1969 年の 3500 人から、2005 年には既に 11 万人まで増加していたものとされ、リーマンショックを挟んで、2010 年時点では、外国人ムスリムが 10～11 万、日本人ムスリムが 1～2 万という推計がなされていた。⁶

表 1. 日本のムスリム人口推計の概観（1969 年～2010 年）

	1969 年	1984 年	1990 年	2005 年	2010 年
日本のムスリム人口 （日本人と外国人）	3,500	8,000	30,000	110,000	110,000
日本の外国人ムスリム人口	1,500	5,100	25,000	98,000	100,000

資料：拙著『日本のモスク：滞日ムスリムの社会的活動』山川出版社、2015 年。

『日本のムスリム人口 1990 年～2020 年』多民族多世代社会研究所、2023 年。

2. 日本のムスリム人口

本節では、新たに推計した 2025 年末における日本のムスリム人口を提示する。本稿では、これまで筆者が実施してきた推計方法に即して、法務省が公開している「在留外国人統計」第 1 表の在留外国人数を利用し、それぞれの国籍の人数に各国別のムスリム人口比率を掛け合わせた外国人ムスリム人口の推計値をまず算出した。各国別のムスリム人口比率については「世界と日本のムスリム人口 2018 年」（『人間科学研究』32 巻 2 号、2019 年）において記述している資料に基づき、それぞれを算出しているので、そちらの資料の注記を参照していただきたい。更に在留資格の「永住者」と「日本人の配偶者等（日本人の配偶者、日本人の実子または特別養子）」については、同様のムスリム人口比率を利用して、「永住者」と「日本人の配偶者等」としての外国人ムスリム人口を算出した。それらの推計結果の一部を、以下の表 2. に記載した。因みに、この表には、前回までとは異なり、「永住者」の在留資格の外国人ムスリム人口を表示することとして、「日本人の配偶者等」の在留資格の外国人ムスリム人口については、紙幅の関係で表示しないこととした。この他に、2026 年 1 月 1 日時点での「不法残留者」として国籍が公表されているインドネシア、カンボジア、フィリピン、タイ、スリランカ、ベトナム、中国、台湾、トルコの外国人については、同様にムスリム人口比率を利用して、外国人ムスリムの「非正規滞在者」として推計し、それらのムスリム人口数を掲載した。以下では、表 2. に示された外国人ムスリム人口について詳述しておこう。

次ページ以降の表 2. には、国籍別に在留外国人数から推計された外国人ムスリムの人数を記載している。推計の時点は、2025 年 12 月末・2026 年 1 月 1 日 0 時現在である。まず表に記載したすべての国籍について正規の滞在資格を有する外国人ムスリムを足し合わせた総数は、440,149 人である。この内数として「永住者」資格の外国人ムスリムは、46,674 人である。なお、表示はしていないが「日本人の配偶者等」資格の外国人ムスリムは、11,162 人である。この他に、2026 年 1 月 1 日付けで公表されている「不法残留者」の統計があり、インドネシア、カンボジア、フィリピン、タイ、スリランカ、ベトナム、中国、台湾、トルコ国籍の者について、ムスリム人口を推計し、表 2. に「非正規滞在者」として掲載している。その合計数は、6,496 人である。

繰り返しとなるが、表 2. では、正規の滞在資格を有する外国人ムスリム、440,149 人、「非正規滞在者」の外国人ムスリム、6,496 人、双方を合計して、2025 年 12 月末の外国人ムスリム人口の総数は、446,645 人と推計している。因みに、2020 年末の外国人ムスリム人口は、184,121 人であったから、この 5 年間で、262,524 人が増加したこととなり、およそ 2.4 倍にまで急増したのである。

表 2. 日本の外国人ムスリム人口推計/ 2025 年 12 月末現在、2026 年 1 月 1 日午前 0 時現在。

国名	地域	在留外国 人数	国別ムス リム比率	外国人ムスリ ム人口	永住者の 在留外国 人	永住者の 在留外国 人ムスリ ム	非正規滞在 の外国人数	非正規滞在 の外国人ム スリム数
ソマリア		41	99.0	41	3	3	2026-1-1 現在	
コモロ		3	98.4	3	0	0		
ジブチ		22	94.1	21	1	1		
エリトリア		53	50.0	27	11	6		
タンザニア		698	35.0	244	154	54		
エチオピア		920	34.1	314	120	41		
モザンビーク		203	17.9	36	10	2		
マラウイ	東アフリカ	248	20.0	50	9	2		
モーリシャス		121	17.3	21	28	5		
ウガンダ		1117	12.1	135	166	20		
マダガスカル		217	2.0	4	31	1		
ケニア		1173	11.2	131	211	24		
ブルンジ		65	3.5	2	7	0		

セイシェル		14	1.6	0	1	0		
ルワンダ		154	2.0	3	12	0		
ザンビア		248	0.4	1	29	0		
ジンバブエ		723	0.9	7	32	0		
チャド		4	57.0	2	0	0		
カメルーン		1882	20.9	393	139	29		
中央アフリカ		17	10.0	2	6	1		
コンゴ共和国	中部アフリカ	43	1.6	1	5	0		
コンゴ民主共和国		873	10.0	87	142	14		
ガボン		41	6.4	3	4	0		
アルジェリア		328	99.7	327	71	71		
モロッコ		826	99.0	818	255	252		
チュニジア	北アフリカ	1026	99.0	1016	178	176		
リビア		68	96.6	66	14	14		
エジプト		2601	90.0	2341	478	430		
スーダン		436	68.4	298	58	40		
南アフリカ		1826	2.5	46	183	5		
アンゴラ	南部アフリカ	80	0.7	1	2	0		
ボツワナ		88	0.3	0	6	0		
エスワティニ		13	1.0	0	1	0		
モーリタニア		30	99.1	30	3	3		
ガンビア		234	90.0	211	24	22		

セネガル		1213	95.4	1157	229	218		
マリ		370	94.8	351	95	90		
ニジェール		26	90.0	23	11	10		
ギニア		747	86.7	648	201	174		
シェラレオネ	西アフリカ	108	65.0	70	24	16		
ブルキナファソ		222	61.6	137	26	16		
ナイジェリア		4807	50.5	2428	1698	857		
コートジボアール		212	40.2	85	51	21		
カーボベルデ		12	1.8	0	1	0		
ギニア・ビサオ		13	45.1	6	2	1		
リベリア		158	12.2	19	10	1		
トーゴ		76	13.7	10	18	2		
ガーナ		3541	17.6	623	1313	231		
ベナン		189	24.4	46	30	7		
モンゴル		21359	3.0	641	1733	52		
中国	東アジア	930428	1.8	16748	357565	6436	5827	105
台湾		73256	0.6	440	26380	158	2601	16
モルジブ		89	100.0	89	26	26		
アフガニスタン		6887	99.0	6818	322	319		
イラン		4431	99.3	4400	2604	2586		
パキスタン		34911	96.4	33654	5616	5414		
バングラデシュ		44938	89.1	40040	4538	4043		

ウズベキスタン	南部中央アジア	7362	76.2	5610	578	440		
トルクメニスタン		162	87.2	141	10	9		
タジキスタン		392	84.0	329	16	13		
キルギスタン		1028	60.8	625	68	41		
カザフスタン		989	70.2	694	80	56		
インド		58999	14.2	8378	10084	1432		
スリランカ		79128	9.7	7675	4457	432	2091	203
ネパール		300992	4.4	13244	9908	436		
インドネシア		266069	87.2	232012	8384	7311	4248	3704
ブルネイ		104	78.8	82	7	6		
マレーシア		12266	61.3	7519	3645	2234		0
シンガポール		4007	14.9	597	1316	196		
フィリピン	東南アジア	356579	5.1	18186	143784	7333	4393	224
タイ		67097	9.0	6039	22207	1999	10907	982
ミャンマー		182567	4.3	7850	3256	140		
カンボジア		28957	4.0	1158	1797	72	1044	42
ベトナム		681100	0.2	1362	32698	65	11601	23
東チモール		144	3.8	5	1	0		
バレーン		17	70.0	12	1	1		
イエメン		332	100.0	332	10	10		
トルコ		7919	97.5	7721	1310	1277	1228	1197

パレスチナ		121	98.0	119	25	25		
イラク		225	96.0	216	9	9		6496
サウジアラビア		323	94.0	304	20	19		
ヨルダン		275	97.2	267	51	50		上記の合計
アラブ首長国連邦		78	62.0	48	2	1		
カタール	西アジア	21	83.0	17	0	0		
アゼルバイジャン		208	96.0	200	30	29		
オマーン		28	85.9	24	0	0		
シリア		1701	85.0	1446	90	77		
クウェート		40	76.7	31	0	0		
レバノン		194	54.0	105	45	24		
キプロス		102	1.8	2	17	0		
イスラエル		912	17.5	160	272	48		
ジョージア		129	19.5	25	23	4		
北マケドニア		57	32.0	18	13	4		
ブルガリア		498	10.0	50	189	19		
ロシア		12187	16.0	1950	4730	757		
ウクライナ	東ヨーロッパ	4258	1.0	43	1005	10		
モルドバ		166	5.5	9	92	5		
ルーマニア		2321	0.3	7	1399	4		
アルバニア		93	58.8	55	45	26		
ボスニア・ヘルツェゴビ		56	45.0	25	9	4		

ナ								
セルビア		270	3.1	8	66	2		
モンテネグロ		13	19.1	2	2	0		
コソボ	南ヨーロッパ	23	95.6	22	5	5		
クロアチア		165	1.5	2	47	1		
スロベニア		143	2.4	3	31	1		
マルタ		40	0.7	0	12	0		
リヒテンシュタイン	西ヨーロッパ	12	4.1	0	4	0		
スリナム		9	13.9	1	4	1		
ガイアナ	南アメリカ	17	7.2	1	6	0		
ブラジル		210014	0.1	210	117593	118		
アルゼンチン		3678	1.5	55	1718	26		
トリニダード・トバゴ		258	4.9	13	22	1		
パナマ	中米・カリブ海	128	0.7	1	25	0		
フィジー	オセアニア	374	6.3	24	69	4		
ムスリム推計人口の合計				外国人ムスリム人口	(内数)	永住者の在留外国人ムスリム	非正規滞在の外国人ムスリム	外国人ムスリム推計人口の合計
				440149		46674	6496	446645

資料：『在留外国人統計』 2025 年 12 月末

出入国在留管理庁「本邦における不法残留者数について 令和 8 年 1 月 1 日現在」

一方、国内の日本人ムスリムに関する、2016 年末以降の人口推計においては、拙稿「日本人ムスリムとは誰のことか」において採用した方法を使って、推計を実施する。以下では、その推計方法の概要を改めて紹介しておきたい。なお、2020 年末の推計については、前著の記述をほぼそのまま再掲載していることをお断りしたい（『日本のムスリム人口 1990 年～2020 年』）。

はじめに、2016 年末時点の日本人ムスリムの人口推計結果は、以下のようであった。推計過程の詳細は省略するが、年齢別の在留外国人の割合も推計しつつ、「在留外国人統計」にある「日本人の配偶者等」および「永住者」の在留資格を有する在留外国人数を利用した推計によれば、婚姻を契機としてムスリムになった日本人、1 万 2 千、子どもや若者（25 歳未満と想定して推計）の日本人ムスリム、2 万 3 千、であった。この他、「官報」から得られる帰化者データを利用した推計から、帰化した「日本人ムスリム」が 3 千、この他、日本ムスリム協会等の資料から推計した、自ら入信した日本人ムスリムが 2 千である。以上を合計した 4 万というのが、2016 年末時点の日本人ムスリムの推計人口であった。⁷

以上の 2016 年時点の日本人ムスリムの推計人口をもとに、2020 年 12 月末現在の日本人ムスリム人口を簡便な方法によって推計した。2020 年 12 月末現在における、「日本人の配偶者等」資格のムスリム、8,543 人、「永住者」資格のムスリム、39,352 人に対して、2016 年末時点においては、前者が 7,543 人、後者が 33,727 人である。両者をあわせた変化を見ると、2020 年 12 月末現在、47,895 人、2016 年末時点、41,270 人であり、約 16%の増加である。⁸そこで、2020 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、それぞれのカテゴリーで約 16%の増加と想定して、婚姻を契機としてムスリムになった日本人が、1 万 4 千、子どもや若者の日本人ムスリムが、2 万 7 千、と推計することとした。1 年間のムスリムの帰化者数は、2014 年以降はほぼ年間 180 人前後であることから、⁹ 3 年間でおよそ 7 百人の増加を想定して、3 千 7 百人とした。新たな入信者については、数百人規模の増加を想定して、2 千 4 百人とした。以上を合計して、2020 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、4 万 7 千とすることとしたのである。

今回の新たなムスリム人口推計にあたって、以上までに推計された 2020 年時点の日本人ムスリムの推計人口をベースにして、2024 年 12 月末現在の日本人ムスリム人口を簡便な方法によって推計する。2025 年 12 月末現在における、「日本人の配偶者等」資格のムスリム、11,162 人、「永住者」資格のムスリム、46,674 人に対して、2020 年末時点においては、前者が 8,543 人、後者が 39,352 人である。両者をあわせた変化を見ると、2025 年 12 月末現在、57,836 人、2020 年末時点、47,895 人であり、約 20.8%の増加である。¹⁰

そこで、2025 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、それぞれのカテゴリーで約 20.8%の増加と想定して、婚姻を契機としてムスリムになった日本人が、1 万 7 千、子どもや若者の日本人ムスリムが、3 万 3 千、と推計することとした。1 年間の帰化した「日本人ム

スリム」については、官報に報告されている「帰化ムスリム」の数を 2021 年度から独自に把握したところ、2021 年度は 244 人、2022 年度は 373 人、2023 年度は 292 人であった。2024～2025 年度の詳細は把握していないが、これまでの年度と同様に、1 年間の帰化数をおよそ 300 人として、5 年間で 1 千 5 百人の増加を想定して、5 千 2 百人とした。新たな入信者については、近年は新たな入信者の増加が言われるようになっているが、確認できるデータが入手できないため、これまでと同様に年間 2 百人規模の増加を想定して、5 年間で 1 千人の増加を加えて、3 千 4 百人とする。以上を合計して、2025 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、5 万 8 千 6 百とすることとした。ただし、昨年度の推計の時点でも触れたことだが、日本人ムスリムの推計人口の算出にあたっては、死亡者数の推計を取り込むことが必要となっていることを勘案することとした。今回は、現在の日本社会の死亡率(13.3 出典：2025 年人口動態統計月報年計の概況・厚生労働省)を単純に適用して、一旦、算出された推計値に死亡率を掛け合わせ、日本人ムスリムの推計人口を 5 万 8 千とすることとした。¹¹

上記の推計結果をふまえ、先に推計した 2025 年 12 月末/2026 年初の外国人ムスリム人口、446,645 人、および、2025 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口、5 万 8 千を合算する。以上から、日本におけるムスリム人口全体の規模として、外国人ムスリムが 44 万 7 千、日本人ムスリムが 5 万 8 千、日本に住んでいるムスリムの推計人口の概数を、2025 年末/2026 年初現在において、約 5 1 万とすることとした。

3. 都道府県別のムスリム人口推計

次に、都道府県別のムスリム人口推計を実施する。「在留外国人統計」には、都道府県別・国籍別の在留外国人数が報告されており、それを利用して推計した。外国人ムスリムが多い、「主要なイスラム社会」(人口 100 万以上で、全人口に占めるムスリム比率が 50%以上の国)のうち、在留外国人数が多い上位 10 ヶ国について、10 カ国それぞれの在留外国人数をもとに、都道府県別の構成比率を算出した。それをベースとして、2025 年末について、都道府県別のムスリム人口の推計を実施して、表 3. にその結果を掲載した。この方式による推計は、2024 年末の都道府県別のムスリム人口推計と同じであることを付言しておく。ここでは、1 の位まで推計値を表示しているが、全国のムスリム人口の推計値 5 1 万は、概数であることから、あくまでも計算上の数値である。

なお、これ以前の都道府県別の状況については、拙著『日本のムスリム人口 2025 年』に、1990 年、2005 年、2020 年、2023 年、2024 年の状況が表として掲載されているので、そちらを参照していただきたい。

表3. 都道府県別・滞日ムスリム人口の推計（主要10カ国在留外国人数による推計） 2025年末現在

都道府県	アフガニスタン	イラン	インドネシア	トルコ	パキスタン	バングラデシュ	マレーシア	ウズベキスタン	エジプト	ナイジェリア	10カ国合計	構成比率	ムスリム人口推計
北海道	165	22	12,481	111	1,026	403	359	100	92	70	14,829	0.038	19,283
青森県	31	5	1,478	4	144	24	26	0	1	4	1,717	0.004	2,233
岩手県	10	1	1,939	1	105	190	32	6	5	5	2,294	0.006	2,983
宮城県	46	27	3,592	45	601	704	86	8	39	36	5,184	0.013	6,741
秋田県	18	7	687	2	64	25	48	15	5	1	872	0.002	1,134
山形県	0	3	861	5	107	110	38	4	4	16	1,148	0.003	1,493
福島県	33	11	2,241	12	291	187	63	5	5	29	2,877	0.007	3,741
茨城県	664	198	12,976	62	4,065	1,925	262	154	176	155	20,637	0.053	26,836
栃木県	190	144	5,174	29	2,414	903	208	36	17	51	9,166	0.023	11,919
群馬県	47	168	8,267	122	1,755	2,637	96	50	30	38	13,210	0.034	17,178
埼玉県	289	516	14,497	2,335	4,577	6,197	697	542	155	856	30,661	0.078	39,871
千葉県	2,995	472	14,147	245	2,876	2,749	925	591	124	486	25,610	0.065	33,303
東京都	220	1,122	16,225	1,406	1,962	9,741	3,779	3,588	486	791	39,320	0.100	51,131

神奈川県	113	614	14,242	370	1,833	2,969	1,505	483	161	682	22,972	0.059	29,872
新潟県	28	17	2,817	26	502	232	84	61	17	35	3,819	0.010	4,966
富山県	4	8	3,331	12	918	206	84	42	19	5	4,629	0.012	6,019
石川県	12	4	2,850	20	68	337	53	17	27	22	3,410	0.009	4,434
福井県	8	4	1,773	3	46	230	63	5	4	5	2,141	0.005	2,784
山梨県	2	52	1,373	19	124	133	93	5	11	19	1,831	0.005	2,381
長野県	3	51	4,651	20	517	233	164	23	5	13	5,680	0.014	7,386
岐阜県	39	24	6,042	140	997	582	79	12	31	35	7,981	0.020	10,378
静岡県	33	67	9,513	53	709	765	198	35	16	58	11,447	0.029	14,886
愛知県	407	236	21,153	1,868	3,564	1,773	431	470	161	317	30,380	0.077	39,506
三重県	135	35	5,640	45	393	379	100	16	27	29	6,799	0.017	8,841
滋賀県	17	11	3,555	18	92	140	119	30	8	17	4,007	0.010	5,211
京都府	108	101	4,508	129	406	946	307	135	137	64	6,841	0.017	8,896
大阪府	147	198	15,279	396	1,315	3,161	819	331	245	277	22,168	0.057	28,827
兵庫県	112	106	7,696	118	706	2,287	308	137	116	155	11,741	0.030	15,268
奈良県	22	20	1,639	24	97	281	68	26	8	26	2,211	0.006	2,875
和歌山県	7	2	1,346	5	28	55	39	14	8	7	1,511	0.004	1,965
鳥取県	1	0	687	0	57	46	20	4	3	18	836	0.002	1,087
島根県	23	2	791	2	98	212	23	1	2	2	1,156	0.003	1,503

岡山県	31	14	4,707	29	338	480	91	13	18	24	5,745	0.015	7,471
広島県	117	33	7,803	23	217	889	201	47	62	68	9,460	0.024	12,302
山口県	13	1	3,050	10	56	237	55	9	0	20	3,451	0.009	4,488
徳島県	36	2	1,405	12	120	137	27	8	12	9	1,768	0.005	2,299
香川県	1	4	4,572	6	108	163	46	5	9	10	4,924	0.013	6,403
愛媛県	13	3	2,727	9	75	113	31	28	1	20	3,020	0.008	3,927
高知県	3	3	1,408	2	25	107	14	1	4	5	1,572	0.004	2,044
福岡県	295	48	9,706	78	687	801	274	145	215	133	12,382	0.032	16,101
佐賀県	23	0	2,614	3	84	159	29	6	4	0	2,922	0.007	3,800
長崎県	1	4	2,648	5	18	69	30	0	21	29	2,825	0.007	3,674
熊本県	25	6	5,032	5	242	165	67	15	22	18	5,597	0.014	7,278
大分県	51	13	3,502	7	96	372	68	47	11	48	4,215	0.011	5,481
宮崎県	186	0	3,449	4	76	161	11	5	19	34	3,945	0.010	5,130
鹿児島県	39	3	5,261	8	137	83	38	21	16	10	5,616	0.014	7,303
沖縄県	111	44	4,234	35	109	150	79	31	25	41	4,859	0.012	6,319
未定・不詳	13	5	500	36	66	90	29	35	17	14	805	0.002	1,047
総計	6,887	4,431	266,069	7,919	34,911	44,938	12,266	7,362	2,601	4,807	392,191	1.000	510,000

資料：『在留外国人統計』2025年12月末現在。

4. まとめにかえて・・・日本のムスリム人口の推計結果

最後に改めて、2025 年末/2026 年初の滞日ムスリム人口の推計値を提示する。

2025 年 12 月末/2026 年初時点で推計された外国人ムスリム人口は、446,645 人、2025 年 12 月末時点で推計された日本人ムスリム人口は、5 万 8 千である。以上から、日本におけるムスリム人口全体の規模として、外国人ムスリムは、44 万 7 千、日本人ムスリムは、5 万 8 千とした。したがって、日本に住んでいるムスリムの推計人口総数は、2025 年末/2026 年初現在において、約 51 万とする。これは、日本の総人口の約 0.4%に相当する。

日本のムスリム人口は、欧米の先進諸国に比べると、人口規模や全人口に占める割合も低かったが、ここ数年の増加は顕著なものがある。将来の日本のムスリム人口の規模については、2019 年 4 月からの「特定技能」資格の導入や、2027 年 4 月に施行される予定の育成就労制度による外国人労働者受入政策の変更などを考慮すると、今後も在留外国人数が増加することが考えられ、滞日ムスリム人口も増加することが予想される。他方で、最近の「外国人政策」をめぐる社会動向や、永住者の在留資格の要件の変更などの施策をみると、在留外国人数が減少へ向かうという変化も考えられないわけではなく、中長期の定住者や永住者が一定数いるムスリム人口への影響もあるのかもしれない。2025 年末の在留外国人統計による推計結果に現れたような増加が続くのか、あるいは、減少へむかうのかは、2026 年度の在留外国人統計の数字の変化として確認できるように考えられる。これまでは、在留外国人数の動向は増勢にあり、滞日ムスリム人口はそれを上回る増勢にあったが、これからは、在留外国人全体の人口についても、滞日ムスリム人口についても、その変動を注視していく必要がある。

¹ 店田廣文・岡井宏文「日本のイスラーム：ムスリム・コミュニティの現状と課題」『宗務時報』119 号、2015 年。店田廣文『日本のモスク：滞日ムスリムの社会的活動』山川出版社、2015 年。店田廣文「日本のムスリム人口 2025 年」『Research Papers: Muslims in Japan』No. 29、多民族多世代社会研究所、2025 年。モスクの数についても、同書巻末資料参照。

² ただし、表題では 2026 年のムスリム人口として表記することとした。在留外国人統計の最新データは、2025 年 12 月末時点のものである。また同時に使用する不法残留者のデータは、2026 年 1 月 1 日現在のものである。そこで、タイトルには、2025/2026 年と表記することも考えたが、2026 年 1 月 1 日 0 時現在のデータとみなすこともできるであろうと考慮して、「日本のムスリム人口 2026 年」とタイトルをつけることとした。

³ 岡井宏文「見えにくいものを見るということ」『日本に暮らすムスリム』長沢栄治監修・嶺崎寛子編著、明石書店、2024 年；店田廣文「日本のイスラームと日本人ムスリムの現在」『フランスのイスラーム/日本のイスラーム』伊達聖伸編、水声社、2023 年。

⁴ 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2018 年」『人間科学研究』32 巻 2 号、2019 年、ほか。

⁵ 日本人として最初に聖地マッカを訪問した人物について、新たな研究成果が発表されている。詳細は、以下を参照。黒田賢治「一九〇七年の中島裁之の世界旅行と「メッカ」視察談—日本初のマッカ訪問者をめぐって」『近代日本におけるイスラームの転回—漂泊する知の考古学』春風社、2026 年。

⁶ 2016 年末のムスリム人口推計から、日本人ムスリムの推計方法を改めたため、これ以前と以後の年次の推計値は単純には比較できないものであることを明記しておきたい。

⁷ 店田廣文「日本人ムスリムとは誰のことか —日本におけるイスラーム教徒（ムスリム）人口の現在」『社会学年誌』59 号、2018 年、109-128 頁。

⁸ 2019 年末の在留外国人統計では、「日本人の配偶者等」の在留資格の内訳が明記されている。これ以降の在留外国人統計では、日本人の配偶者と、日本人の子の実数が把握できるようになったが、その後、また変更となったようである。

⁹ 店田廣文「日本人ムスリムとは誰のことか」（前掲）。

¹⁰ 2023 年末の在留外国人統計においても、「日本人の配偶者等」の在留資格の内訳が明記されている。それによって、日本人の配偶者と、日本人の子（実子または特別養子）の実数が把握できる。2024 年末の在留外国人統計では、同様の内訳は明記されていないようだ。

¹¹ 新たな入信者の増加については、次を参照。松山洋平『ニッポンのムスリムが自爆する時 —日本・イスラーム・宗教』作品社、2024 年。また、死亡率を適用した日本人ムスリム人口の推計値の算出と直接関係があるわけではないが、国内のイスラム霊園における埋葬状況をデータで確認した数字が報告されている。それによると、和歌山県にある橋本イスラム霊園には、2014 年からの 10 年間で、186 人のムスリムが埋葬され、23 歳以上のムスリム（91 人）に限って見ると、日本人ムスリムが 38 人であったとのことである。桂悠介『他者から自己へ —イスラームへの改宗をめぐるオートエスノグラフィー』晃洋書房、2026 年。

付表 全国モスク・リスト (2026 年 6 月現在)

(1) 都道府県別・地方自治体別

全国モスク・リスト(都道府県別)改訂版 2026 年 6 月現在

都道府県名	モスク所在の自治体名	モスク数の合計
北海道	札幌市・小樽市・江別市	3
青森	上北郡六戸町	1
岩手	盛岡市・北上市	2
宮城	仙台市・黒川郡大衡村・石巻市・荻田郡蔵王町	4
秋田	なし	—
山形	東田川郡庄内町	1
福島	いわき市・郡山市	2
茨城	つくば市・小美玉市(2)・水戸市・ひたちなか市・結城市・坂東市・日立市・猿島郡・古河市・土浦市・常総市	12
栃木	足利市・小山市・鹿沼市・那須塩原市・佐野市	5
群馬	伊勢崎市(2)・館林市(2)・桐生市・高崎市・太田市・北群馬郡	8
埼玉	春日部市・戸田市・八潮市・越谷市・所沢市・坂戸市・川越市・さいたま市(2)・久喜市・入間郡毛呂山町・比企郡鳩山町・三郷市・行田市・北葛飾郡杉戸町・羽生市・児玉郡神川町	17
千葉	山武市・市川市・白井市・千葉市(2)・木更津市・野田市(2)・香取郡・佐倉市	10

東京	渋谷区・目黒区・葛飾区(3)・豊島区・台東区(2)・八王子市・大田区・江戸川区(2)・千代田区・北区・墨田区・福生市・町田市	17
神奈川	海老名市・横浜市・相模原市・秦野市・平塚市・愛川町	6
新潟	新潟市(2)	2
富山	射水市・富山市	2
石川	金沢市	1
福井	福井市	1
山梨	甲府市・南都留郡	2
長野	埴科郡坂城町・塩尻市・上田市	3
岐阜	各務原市・岐阜市・大垣市・中津川市	4
静岡	富士市・浜松市(2)・静岡市	4
愛知	名古屋市(5)・安城市・豊田市(2)・春日井市・一宮市・瀬戸市・海部郡飛島村・豊橋市(2)・西尾市・小牧市・津島市・碧南市・北名古屋市	19
三重	津市・四日市市	2
滋賀	草津市・東近江市	2
京都	京都市(3)・綾部市・八幡市	5
大阪	大阪市(4)・茨木市・和泉市・泉南市	7
兵庫	神戸市(2)・三木市	3
奈良	奈良市	1
和歌山	なし	—
鳥取	鳥取市	1
島根	松江市	1
岡山	岡山市・倉敷市	2

広島	東広島市・三原市	2
山口	なし	—
徳島	徳島市	1
香川	坂出市	1
愛媛	新居浜市	1
高知	高知市	1
福岡	福岡市・北九州市・糸島市	3
佐賀	佐賀市	1
長崎	長崎市	1
熊本	熊本市	1
大分	別府市・中津市	2
宮崎	宮崎市	1
鹿児島	鹿児島市	1
沖縄	中頭郡西原町(2)	2
全国	モスク所在の自治体の総数 144	168

資料：滞日ムスリム調査プロジェクト研究資料 (<http://imemgs.com>)などを元に筆者作成。

(注)自治体名のあとの()内は、モスクの数。

(2) モスク・リスト (設立・確認年順)

全国モスクリスト (2026 年 6 月 25 日現在)

No.	名称 (通称を記載)	所在地	所在地域	設立・確認年
1	<u>神戸モスク</u>	兵庫県神戸市中央区	関西	1935
2	<u>東京回教礼拝堂 (東京ジャーミイ)</u>	東京都渋谷区	関東	1938(2000)
3	バライ・インドネシア礼拝所 *(97番)	東京都目黒区	関東	1962
4	<u>アラブ・イスラーム学院* (閉鎖)</u>	東京都港区	関東	1982
5	一ノ割モスク	埼玉県春日部市	関東	1991
6	伊勢崎モスク	群馬県伊勢崎市	関東	1995
7	成増モスク (お花茶屋モスク)	東京都葛飾区	関東	1995(2001)
8	日向モスク	千葉県山武市	関東	1995
9	境町モスク	群馬県伊勢崎市	関東	1997
10	海老名モスク	神奈川県海老名市	関東	1998
11	<u>行徳モスク</u>	千葉県市川市	関東	1998
12	<u>名古屋モスク</u>	名古屋市中村区	中部・東海・北陸	1998
13	戸田モスク	埼玉県戸田市	関東	1999
14	<u>大塚モスク</u>	東京都豊島区	関東	1999
15	富山モスク	富山県射水市	中部・東海・北陸	1999
16	<u>八潮モスク</u>	埼玉県八潮市	関東	2000
17	<u>浅草モスク</u>	東京都台東区	関東	2000
18	足利モスク	栃木県足利市	関東	2000
19	<u>つくばモスク</u>	茨城県つくば市	関東	2001
20	新安城モスク	愛知県安城市	中部・東海・北陸	2001
21	高松モスク* [閉鎖]	香川県高松市	四国	2001
22	白井モスク	千葉県白井市	関東	2001
23	富士モスク	静岡県富士市	中部・東海・北陸	2001

24	<u>大阪中央モスク</u>	大阪市西淀川区	関西	2001
25	<u>八王子モスク</u>	東京都八王子市	関東	2002
26	<u>各務原モスク</u>	岐阜県各務原市	中部・東海・北陸	2002
27	<u>新潟モスク</u>	新潟県新潟市北区	中部・東海・北陸	2002
28	<u>館林モスク</u>	群馬県館林市	関東	2003
29	<u>新居浜モスク</u>	愛媛県新居浜市	四国	2003
30	<u>蒲生モスク</u>	埼玉県越谷市	関東	2003
31	<u>小山モスク</u>	栃木県小山市	関東	2005
32	<u>いわきモスク</u>	福島県いわき市泉町 下川字宮ノ下 176-1	東北	2005
33	<u>京都モスク</u>	京都市上京区	関西	2005
34	<u>横浜モスク</u>	横浜市都筑区	関東	2006
35	<u>所沢モスク</u>	埼玉県所沢市	関東	2006
36	<u>豊田モスク</u>	愛知県豊田市	中部・東海・北陸	2006
37	<u>名古屋港モスク</u>	名古屋市港区	中部・東海・北陸	2006
38	<u>浜松モスク</u>	静岡県浜松市南区	中部・東海・北陸	2006
39	<u>坂城モスク</u>	長野県埴科郡坂城町	中部・東海・北陸	2006
40	<u>館林サラマットモスク</u>	群馬県館林市	関東	2006
41	<u>マディーナ・モスク (小美玉)</u>	茨城県小美玉市	関東	2006
42	<u>水戸アブーバカルモスク</u>	茨城県水戸市	関東	2006
43	<u>大阪茨木モスク (新築 2023)</u>	大阪府茨木市	関西	2007
44	<u>仙台モスク</u>	仙台市青葉区	東北	2007
45	<u>ベイトルムカッラムモスク</u>	茨城県ひたちなか市	関東	2007
46	<u>札幌モスク</u>	北海道札幌市北区	北海道	2007
47	<u>春日井モスク</u>	愛知県春日井市	中部・東海・北陸	2007
48	<u>結城モスク</u>	茨城県結城市	関東	2008
49	<u>徳島モスク</u>	徳島県徳島市	四国	2008
50	<u>バープ・アル=イスラーム岐阜モスク</u>	岐阜県岐阜市	中部・東海・北陸	2008
51	<u>小樽モスク</u>	北海道小樽市	北海道	2008
52	<u>坂戸モスク</u>	埼玉県坂戸市	関東	2008

53	<u>別府モスク</u>	大分県別府市	九州	2008
54	<u>岡山モスク</u>	岡山県岡山市北区	中国	2008
55	<u>石岡・小美玉モスク</u>	茨城県小美玉市	関東	2008
56	<u>鹿沼モスク</u>	栃木県鹿沼市	関東	2008
57	<u>一宮モスク</u>	愛知県一宮市	中部・東海・北陸	2008
58	<u>福岡モスク</u>	福岡県福岡市東区	九州	2009
59	<u>三重モスク</u>	三重県津市	関西	2009
60	<u>いわいモスク</u>	茨城県坂東市	関東	2009
61	<u>日立モスク</u>	茨城県日立市	関東	2009
62	<u>新潟第2モスク</u>	新潟県新潟市西区	中部・東海・北陸	2009
63	<u>千葉（四街道）モスク</u>	千葉県千葉市	関東	2009
64	<u>川越モスク</u>	埼玉県川越市	関東	2010
65	<u>御徒町モスク</u>	東京都台東区	関東	2010
66	<u>瀬戸モスク</u>	愛知県瀬戸市	中部・東海・北陸	2010
67	<u>福井モスク</u>	福井県福井市	中部・東海・北陸	2010
68	<u>埼玉モスク</u>	埼玉県さいたま市	関東	2011
69	<u>飛島モスク</u>	愛知県海部郡飛島村	中部・東海・北陸	2011
70	<u>木更津モスク</u>	千葉県木更津市	関東	2011
71	<u>東広島モスク</u>	広島県東広島市	中国	2012
72	<u>豊橋モスク</u>	愛知県豊橋市	中部・東海・北陸	2012
73	<u>熊本モスク</u>	熊本県熊本市中央区	九州	2013
74	<u>桐生モスク</u>	群馬県桐生市	関東	2013
75	<u>島根モスク</u>	島根県松江市	中国	2013
76	<u>蒲田モスク</u>	東京都大田区	関東	2013
77	<u>金沢モスク</u>	石川県金沢市	中部・東海・北陸	2014
78	<u>鳥取モスク</u>	鳥取県鳥取市	中国	2014
79	<u>富山五福モスク</u>	富山県富山市	中部・東海・北陸	2014
80	<u>鹿児島モスク</u>	鹿児島県鹿児島市	九州	2014
81	<u>沖縄モスク</u>	沖縄県中頭郡	沖縄	不詳
82	<u>盛岡モスク</u>	岩手県盛岡市	東北	2015

83	大衡モスク	宮城県黒川郡	東北	2015
84	那須塩原モスク	栃木県那須塩原市	関東	2015
85	鈴鹿モスク (名称・鈴鹿が継続)	三重県四日市市	中部・東海・北陸	2011?
86	久喜モスク	埼玉県久喜市	関東	不詳
87	野田モスク* (新築 2023 年)	千葉県野田市親野井 164-5	関東	2016
88	西葛西モスク	東京都江戸川区	関東	2016
89	西千葉モスク	千葉県千葉市	関東	2016
90	甲府モスク	山梨県甲府市	関東	2016
91	佐野モスク	栃木県佐野市	関東	2017
92	相模原モスク (マスジド・トゥバ)	神奈川県相模原市	関東	2017
93	毛呂山モスク	埼玉県入間郡毛呂山 町	関東	2017
94	鳩山モスク	埼玉県比企郡鳩山町	関東	2017
95	倉賀野モスク	群馬県高崎市	関東	2017
96	西尾モスク	愛知県西尾市	中部・東海・北陸	2017
97	マスジド・インドネシア東京	東京都目黒区	関東	2017
98	三原モスク	広島県三原市	中国	2017
99	東海モスク	神奈川県秦野市	関東	2017
100	和泉モスク	大阪府和泉市	関西	2017
101	綾部モスク	京都府綾部市	関西	2017
102	八幡モスク	京都府八幡市	関西	2017
103	大垣モスク	岐阜県大垣市	関西	2017
104	兵庫モスク	兵庫県神戸市	関西	2017
105	三郷モスク	埼玉県三郷市采女	関東	2017
106	大阪イスラミックセンター	大阪府西淀川区	関西	2017 (2011)
107	三木モスク	兵庫県三木市岩宮	関西	2018
108	滋賀モスク	滋賀県草津市	関西	2018
109	静岡モスク (マスジド)	静岡市駿河区	中部・東海・北陸	2019.10

110	新小岩モスク（マスジド）	東京都葛飾区	関東	2019. 10
111	茨城モスク(Sakai Darussalam?)	茨城県猿島郡	関東	2020. 1
112	太田モスク（マスジド）	群馬県太田市	関東	2020. 7
113	中津モスク	大分県中津市	九州	2020
114	ヌサントラ・マスジド	東京都千代田区	関東	2020
115	江戸川マスジド(江戸川イスラム文化センター)	東京都江戸川区	関東	2020
116	マディナマスジド東京	東京都北区東十条 3-17-9	関東	2020
117	ジャパンダアワセンター	大阪府大阪市住吉区	関西	2020
118	沖縄マスジド(沖縄イスラミックカルチャーセンター)	沖縄県中頭郡	沖縄	2020
119	小牧マスジド	愛知県小牧市	中部・東海・北陸	2021
120	古河マスジド (NU)	茨城県古河市	関東	2021
121	アヤソフィヤジャーミイ	愛知県津島市	中部・東海・北陸	2022
122	北九州モスク(北九州イスラム文化交流センター)	福岡県北九州市若松区	九州	2022
123	宮崎マスジド	宮崎市学園木花台南 3-25-5	九州	2022
124	奈良マスジド	奈良市南京終町 2-322-9	関西	2022
125	石巻モスク(石巻イスラム文化センター)	宮城県石巻市松原町 10-11	東北	2022
126	マスジド・イスティクラル大阪	大阪府大阪市西成区	関西	2022
127	錦糸町モスク	東京都墨田区	関東	2022
128	マディーナ・モスク	青森県上北郡	東北	2022
129	江別マスジド	北海道江別市角山 178-3	北海道	2022
130	郡山マスジド	福島県郡山市	東北	2022
131	神立マスジド	茨城県土浦市	関東	2022

132	富士河口湖マスジド	山梨県南都留郡	関東	2022
133	能登川マスジド	滋賀県東近江市	関西	2022
134	香川マスジド	香川県坂出市	四国	2022
135	アル・フダ・モスク	京都府京都市伏見区	関西	2022
136	京都中央マスジド	京都府京都市左京区	関西	2022
137	塩尻マスジド	長野県塩尻市	中部・東海・北陸	2022
138	平塚マスジド	神奈川県平塚市	関東	2022
139	行田マスジド	埼玉県行田市	関東	2022
140	岩槻マスジド	埼玉県さいたま市	関東	2022
141	アル・ファラ・モスク	群馬県北群馬郡	関東	2022
142	長崎モスク	長崎県長崎市	九州	2023
143	石下マスジド	茨城県常総市本石下	関東	2023
144	マスジド・インドネシア名古屋	名古屋市港区	中部・東海・北陸	2023
145	マスジド・インドネシア大阪	大阪府泉南市	関西	2023
146	マスジド・インドネシア倉敷	岡山県倉敷市	中国	2023
147	杉戸マスジド	埼玉県北葛飾郡杉戸町宮前 405-5	関東	2023
148	野田マスジド (New noor huda)	千葉県野田市木間ヶ瀬 3922	関東	2023
149	青戸マスジド	東京都葛飾区青戸 4-22-7	関東	2023
150	糸島マスジド	福岡県糸島市志摩師吉 728-1	九州	2023
151	成田マスジド	千葉県香取郡	関東	2024
152	マスジド・インドネシア横浜	横浜市青葉区	関東	計画中
153	マスジド・インドネシア上田	長野県上田市岩下 100	中部・東海・北陸	2025
154	拝島マスジド	東京都福生市	関東	2025
155	町田マスジド	東京都町田市	関東	2025
156	ダールルムシャッフイスラミヤ	神奈川県愛川町	関東	2025

157	バイトルフダマスジド浜松	静岡県浜松市	中部・東海・北陸	2025
158	マスジドアルヒダーヤ豊橋	愛知県豊橋市	中部・東海・北陸	2025
159	トヨタシティーイスラミックセンター	愛知県豊田市	中部・東海・北陸	2025
160	マスジドアッスンナー碧南	愛知県碧南市	中部・東海・北陸	2025
161	Mavi Mescit 青マスジド	愛知県北名古屋	中部・東海・北陸	2025
162	愛知イスラミックカルチャーアソシエーション (AICA) マスジド	名古屋市千種区	中部・東海・北陸	2025
163	東名古屋イスラミックセンター	名古屋市昭和区	中部・東海・北陸	2025
164	羽生モスク	埼玉県羽生市	関東	2025
165	マスジドアイーシャシッディーク	埼玉県児玉郡神川町	関東	2025
166	マスジドオマル余目	山形県東田川郡庄内町	東北	2025
167	タウヒードモスク北上	岩手県北上市	東北	2025
168	マスジド・アルファーティフ	高知県高知市	四国	2025
170	白石モスク	宮城県荏田郡蔵王町	東北	2026
171	佐倉マスジド	千葉県佐倉市	関東	2026
172	中津川モスク	岐阜県中津川市	中部・東海・北陸	2026
173	佐賀マスジド	佐賀県佐賀市	九州	2026
174	横浜アッソーリヒーンマスジド	横浜市旭区	関東	2026

注) 下線のあるモスクは、ウェブサイトを開設（その他も確認中）。

3. バライインドネシア礼拝所は、97. マスジド・インドネシア東京の前身である。

4. アラブ・イスラーム学院は、2018 年に閉鎖された。

21. 高松モスクは、後に、ムサッラーとなったが、その後、閉鎖。

148. 野田マスジドは、87 番野田モスクの新築されたものと思われるが、はっきりしない。

152. 以降のマスジドについては、主に GOOGLE マップ 等を利用して確認したものである。恒久的なマスジドの形態を保持しているか否かなど不明な点もあるが、日本国内のマスジドの増加傾向を把握することを優先して、マップによって確認できたマスジドや、その他の開設情報

を元にして掲載した。

閉鎖や新築・改築などによる名称変更などの追跡は不十分な点があることを付記する。

資料) 多民族・多世代社会研究所 HP (<http://imemgs.com>)、「登記情報提供サービス」などをもとに筆者作成。